

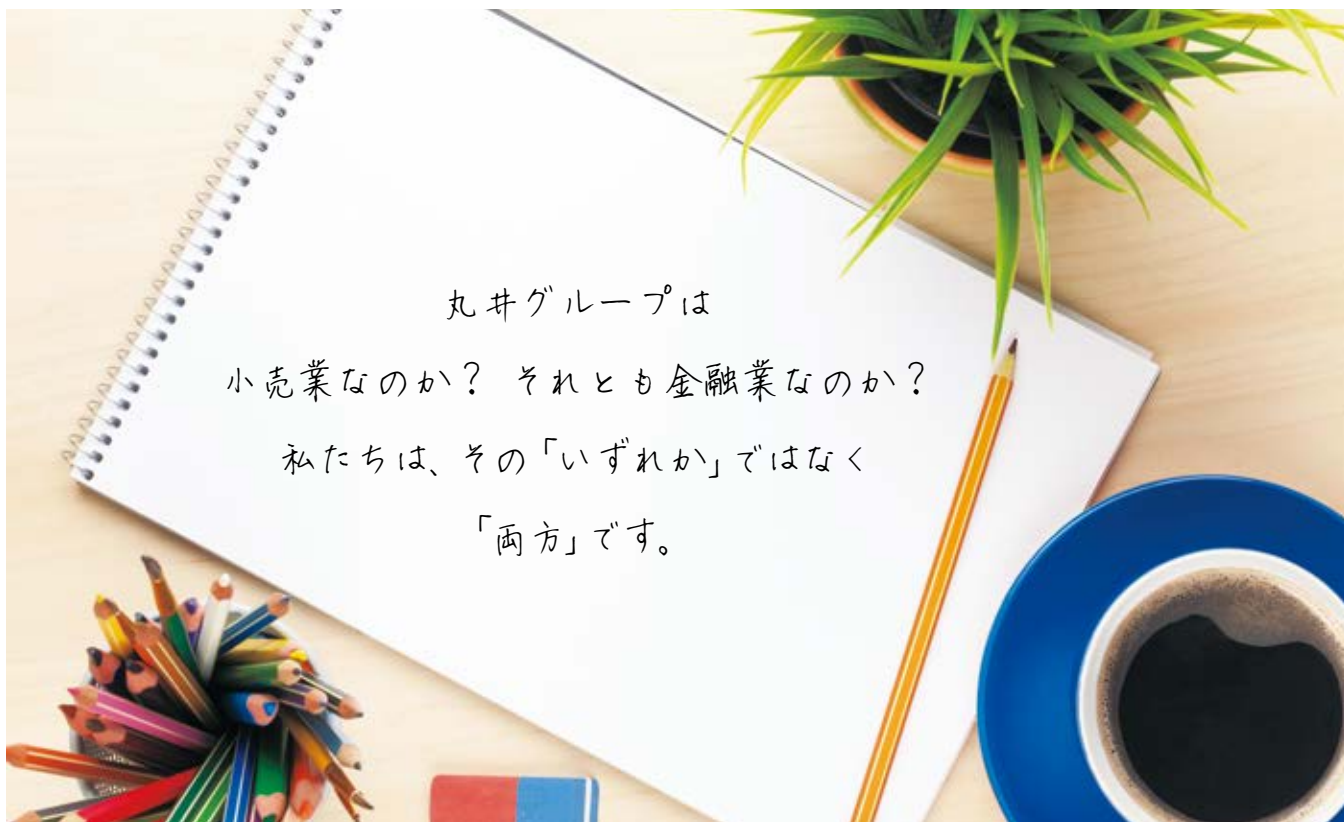


# 共創通信 vol.03

2018年3月期 中間報告書 (2017年4月1日～2017年9月30日)

## 表紙の言葉

株主・投資家の皆さまから最も多くいただくご質問ですが、丸井グループは小売業であると同時に金融業であることが特徴であり、その重なりこそが企業価値の源泉となっています。



## ごあいさつ



皆さまとの対話を通じて、  
新たな価値を創出することが、  
私たちがめざす  
「共創経営」です。

代表取締役社長 代表執行役員  
青井 浩

日頃から丸井グループをご愛顧、ご支持いただいている皆さまに心から感謝申し上げます。

丸井グループは1931年の創業以来、創業者の言葉である「信用はお客さまと共に作るもの」という精神を基盤にしながら、小売・金融一体で、お客さまのお役に立つために進化し続けてきました。おかげさまで、店舗にご来店いただくお客さまは年間のべ2億人、エポスカード会員は645万人となり、多くの方にご支持いただいています。財務面でも、2017年3月期においては営業利益が8期連続の増益、年間配当金は過去最高となりました。加えて、最適資本構成に向けた財務戦略をすすめたことで、投下資本利益率(ROIC)が加重平均資本コスト(WACC)を上回り、ようやく企業価値の創造を実現することができるようになってきました。

2017年7月には、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が採用したESG投資の3指数のすべてに丸井グループが採用されるという嬉しいニュースもありました。当社グループが、世の中の変化に対応して、環境・社会・ガバナンスを重視するESGを踏まえたくうえで、サステナビリティの実現を新しい目標として掲げ、長い時間軸で、未来志向の「本業＝社会へのお役立ち」の取組みをすすめている点を評価していただいたと考えています。

丸井グループの特徴は、企業価値の源泉となっている「小売・金融一体の独自のビジネスモデル」にあります。これまで、小売の成長を支える脇役であったカードと主役であった店舗の関係は、今では店舗がカードの成長を支える側に回ることによって逆転しつつありますが、これは丸井グループが小売

業から金融業に鞍替えしたことによって実現したわけではなく、小売業としての店舗をカード事業の成長のために活用したことで実現できています。従って、私たちはこれからも小売と金融を分けることなく、人材も店舗もデータもすべてを一体の事業として共有し、「小売・金融一体の独自のビジネスモデル」を進化させることで、企業価値の向上をめざしていきます。

同時に、このビジネスモデルが、未来に向けた企業価値創造を実現できるか否かは、私たちが今後の環境変化に長期的に対応していけるにかかっているといえます。私たちは、10年後に向けた環境変化について8つの潮流(EC化、モノ消費からコト消費への移行、シェアリングエコノミーの台頭、少子高齢化、インバウンド需要の拡大、キャッシュレス化、貯蓄から投資へ、低金利時代の終息)に注目し、現在、中期経営計画の中で、SC・定借化、オムニチャネル化、カード事業からフィンテック事業への進化、新たな事業開発などの対応をすすめています。

ステークホルダーの皆さまとの対話を通じて、新たな価値を創出することこそが、丸井グループの考えるイノベーションであり、私たちがめざす「共創経営」です。今後も、株主総会をはじめ株主の皆さまとの対話に積極的に取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

2017年12月

### ESG関連の外部評価(2018年3月期)

世界的な社会的責任投資指標



MEMBER OF  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
In Collaboration with RobecoSAM

GPIFが選定する3つのESG指数



MSCI 2017 Constituent  
MSCI ジャパンESG  
セレクト・リーダーズ指数

MSCI 2017 Constituent  
MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

## 2021年3月期を最終年度とする「中期経営計画」の目標

EPS (1株当たり当期純利益)

**130円以上**

ROE (自己資本当期純利益率)

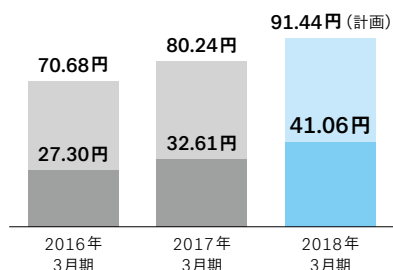
**10%以上**

ROIC (投下資本利益率)

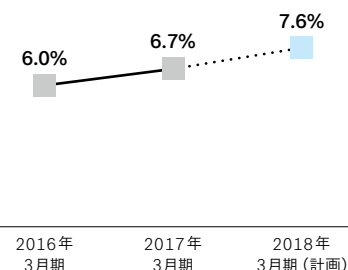
**4%以上**

### 業績トピックス

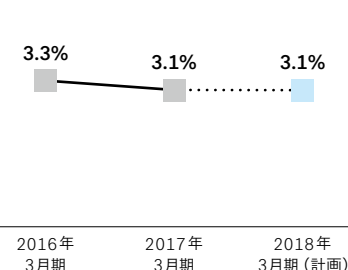
EPS (1株当たり当期純利益)



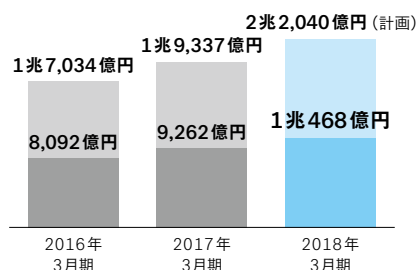
ROE (自己資本当期純利益率)



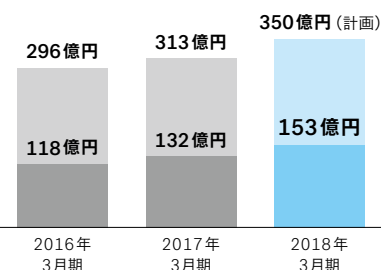
ROIC (投下資本利益率)



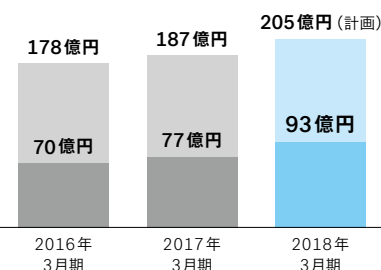
グループ総取扱高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



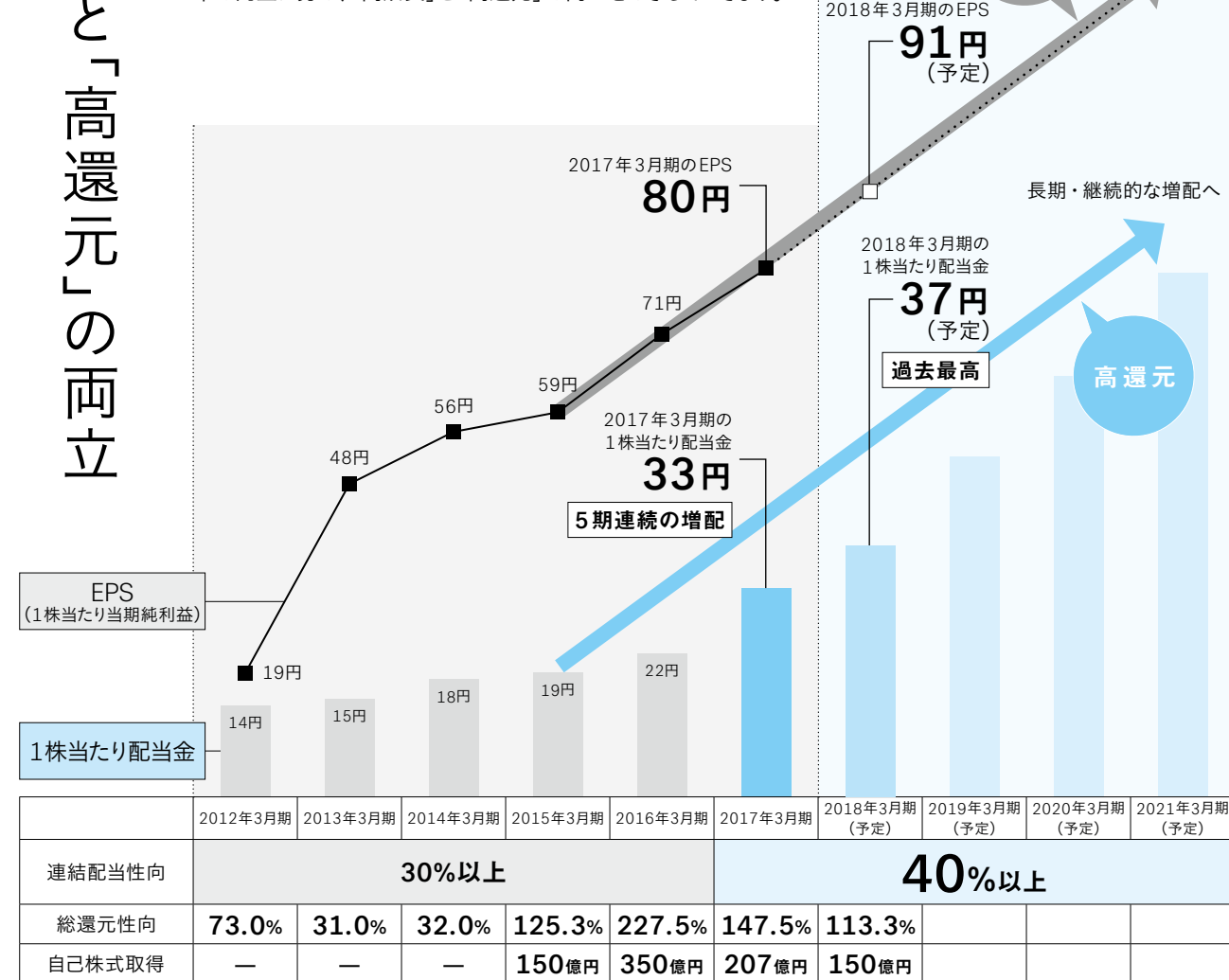
■ 第2四半期  
■ 通期

決算情報の詳細は、丸井グループのホームページでご紹介しています。

www.0101maruigroup.co.jp/ir/lib

## 「高成長」と「高還元」の両立

株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題と位置づけ、中長期で株式を保有していただけるよう、2017年3月期より配当方針を変更し、連結配当性向を「30%以上」から「40%以上」に引き上げています。2018年3月期の1株当たり配当金は、第2四半期末で2円増配の18円としました。年間では4円増配の37円と6期連続の増配を予定しています。今後もEPSの長期的な成長に応じた継続的な配当水準の向上に努め、「高成長」と「高還元」の両立をめざしていきます。



	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期 (予定)	2019年3月期 (予定)	2020年3月期 (予定)	2021年3月期 (予定)	
連結配当性向	30%以上						40%以上				
総還元性向	73.0%	31.0%	32.0%	125.3%	227.5%	147.5%	113.3%				
自己株式取得	—	—	—	150億円	350億円	207億円	150億円				



# 共創カレンダー2017

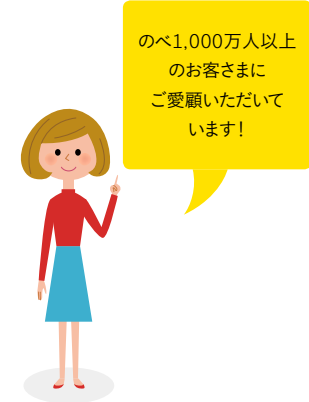
各評価の詳細や、その他の受賞実績は、  
ホームページにてご覧いただけます。

www.0101maruigroup.co.jp/ci/award.html

2017年  
4月



「博多マルイ」開店1周年



のべ1,000万人以上  
のお客さまに  
ご愛顧いただいで  
います!

2017年  
5月



「SMBC なでしこ融資」にて  
「女性活躍の先進企業」に認定



「東京レインボープライド2017」に  
参加

アメリカ「Institutional Investor」が  
発表した日本のベストIR企業  
ランキングの小売セクターで  
総合第1位・バイサイド第1位に  
選出

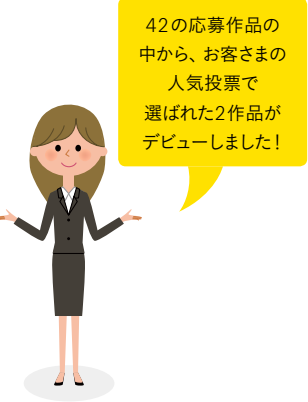
2017年  
6月



銀魂 ©空知英秋/集英社・テレビ東京・電通・  
BNP・アニプレックス  
「銀魂エポスカード」を発行



エポスカードが一般社団法人  
障がい者自立支援機構さまと協業し、  
「パラリンアート」アーティスト  
による新デザインのエポスデザイン  
カードを発行



42の応募作品の  
中から、お客さまの  
人気投票で  
選ばれた2作品が  
デビューしました!

2017年  
7月



「FTSE4Good Index Series」の  
構成銘柄に選定



MSCI 2017 Constituent  
MSCI ジャパンESG  
セレクト・リーダーズ指数  
MSCI 2017 Constituent  
MSCI 日本株  
女性活躍指数 (WIN)

GPIFが選定する3つのESG指数す  
べてに採用



台湾で「ラクチンきれいシューズ  
体験ストア」を開催

2017年  
8月



仮想通貨「ビットコイン」で  
お支払いができる決済サービスを  
「新宿マルイ アネックス」で  
試験導入



店頭ではスマート  
フォン上で決済が  
おこなえます!



「インクルージョンフェス2017」を開催

2017年  
9月



TM&©TOHO CO., LTD.  
ゴジラとのコラボレーション始動

MEMBER OF  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
In Collaboration with RobecoSAM  
社会的責任投資「Dow Jones  
Sustainability Asia Pacific Index  
(DJSI Asia Pacific)」の構成銘柄  
に選定



「北千住マルイ」に「キッチン  
ガーデン350」がオープン

「ユニバーサルマナーアワード  
2017」の「インパクト部門」に選出

「マルイファミリー溝口」開店20周年

2017年  
10月



日本最大のバッグシェアサービス  
「Laxus」を運営するラクサス・  
テクノロジーズ株式会社さまと  
事業提携を強化

ネット通販購入商品の店舗受取り・  
返品受付をマルイ24店舗へ拡大



「PRIDE指標2017」において  
最高評価「ゴールド」を受賞



「DBJ環境格付」にて  
最高ランクの格付を取得



株式会社グローバルトラストネット  
ワークス(GTN)さまとの協業を開始  
し、国内初の外国人専用クレジット  
カード「GTNエポスカード」を発行



「有楽町マルイ」開店10周年



「新宿マルイアネックス」に  
世界初のゴジラ公式ショップを  
オープン

# NEW TOPICS 丸井グループの取組み

## アニメ ゴジラとのコラボレーションが始動

2016年4月のアニメ事業部発足を機に、丸井グループでは、アニメ・ゲームなどのコンテンツとのコラボレーションをおこなっています。当期は、2017年11月17日公開のアニメーション映画「GODZILLA 怪獣惑星」の公開に合わせて東宝株式会社さまの主力コンテンツ「ゴジラ」とコラボレーションをしています。

### 「ゴジラ・ストアTokyo」オープン

世界初のゴジラ公式ショップ「ゴジラ・ストアTokyo」が、2017年10月30日に「新宿マルイ アネックス」にオープンしました。オープン当日はゴジラとストア店長によるテープカットもおこなわれ、大人から子どもまで多くのお客さまにお越しいただきました。



### コラボ商品の販売

マルイとゴジラの限定コラボ商品を販売し、幅広い年代のお客さまにご好評をいただきました。



### アニメ事業部 担当者の声

ゴジラの世界観を大切にしながら、丸井グループらしさをどう提案するか。他の部署と共通認識を持ちつつ、スピード感を持ってすすめることは大変でしたが、良い経験にもなりました。1店舗でのイベントに限らず、コラボレーションカードの発行など多方面に取組みを拡大することができ、幅広いお客さまからご好評をいただくこともできました。今後もお客さまがワクワクするような企画を考え、実現していきたいと思います。

株式会社丸井グループ  
アニメ事業部  
吉岡 翔



### 「ゴジラエポスカード」を発行

2017年9月29日より「ゴジラエポスカード」の発行を開始し、発行枚数も計画を上回るペースで順調に推移しています。



TM&©TOHO CO., LTD.

## フィンテック 「新宿マルイ アネックス」で「ビットコイン」決済サービスを導入

2017年8月7日より、国内最大のビットコイン・ブロックチェーン企業である株式会社bitFlyerさまが提供するアプリ「bitFlyer ウォレット」による仮想通貨「ビットコイン」決済サービスの試験導入を、「新宿マルイ アネックス」で開始しました。



QRコードが表示された店舗タブレット画面を、スマートフォンカメラで読み取り、数秒で決済完了

### 仮想通貨「ビットコイン」とは?

仮想通貨とは、紙幣や硬貨といった実物がなく、インターネット上でやり取りするお金を指します。中でも代表的な仮想通貨である「ビットコイン」は、取引所を通じてドルや円などの通貨と交換できます。全世界で利用ができることに加え、既存の金融機関を経由しないため、海外送金などの手数料の安さが魅力です。

## フィンテック 国内初の外国人専用クレジットカード「GTNエポスカード」発行



外国人専門の生活総合支援企業である株式会社グローバルトラストネットワークス(GTN)さまの「来日されるすべての外国人に『日本に来て、本当に良かった』と心から思っていたきたい」という想いと、「すべての人に金融サービスを提供するファイナンシャル・インクルージョン」の実現をめざす当社グループの想いが重なり、2017年10月26日より外国人専用クレジットカード「GTNエポスカード」の発行を開始しました。

## フィンテック お客さまに保険をわかりやすく伝える取組み

ファイナンシャル・インクルージョンの取組みの一環として、わかりにくい保険を理解し、自分に合った保険に加入していただけるように、ファイナンシャルプランナー前野 彩氏監修のもと、マンガをリリースしました。



詳しい内容はエポスカードホームページをご覧ください。  
[www.eposcard.co.jp/insurance/beginner/](http://www.eposcard.co.jp/insurance/beginner/)



エポス保険キャラクター エボラクダ



## 小売

### お客さまと対話を重ね、導入階を食のフロアに

通常百貨店の導入階は、当社も含めて、化粧品やブランドショップであることがほとんどです。「博多マルイ」では、お客さまとの共創を通じてこの常識を打ち破り、導入階の飲食化を実施したことで、年齢・性別を超えた多くのお客さまに楽しんでいただけるインクルーシブな店づくりが実現しました。その結果、「有楽町マルイ」との比較で入店客数が1.3倍、買上客数が1.2倍、新規カード入会は1.5倍となるなど、高い成果につながっています（2017年3月期実績）。

この結果を受けて、「北千住マルイ」「丸井錦糸町店」などの5店舗で「お客さま企画会議」を実施したところ、「導入階の飲食化」が全店共通のニーズであることがわかりました。これら5店舗で導入階の飲食化をメインとした改装をすすめた結果、取扱高・買上客数がともに伸長し、全店の業績を牽引しています。



お客さまとの共創により、マルイで初めて1階を食のフロアにした「博多マルイ」

導入階の飲食化をおこなった店舗  
(北千住マルイ・丸井錦糸町店・京都マルイ・柏マルイ・静岡マルイ)

取扱高 **25%UP↑** 買上客数 **30%UP↑**  
(2017年10月実績 前年同月比)



「北千住マルイ」2階エントランスに体にやさしい食材を使用した食のゾーンをオープン



観光客も地元の方も立ち寄れる地元発の食を取り揃えた「京都マルイ」1階



ライフスタイルストアとして生まれ変わった「静岡マルイ」1階

## 小売

### すべての人にやさしい店づくり

日本の未来と丸井グループの役割をグループ横断で考える「マルイミライプロジェクト」の一環として、「丸井錦糸町店」では、白と黒を使いコントラストに配慮したピクトグラムやフロアガイドを設置。白と黒が反転したことで、弱視の方や白内障の方にもサインが認識されやすくなりました。この事例は優れた取組みとしてプロジェクトで共有され、他店舗への拡大も検討しています。



店舗の各所に白と黒を反転した床貼りシートを設置

## 小売

### EC事業での新たな戦略

#### KDDI内ネット通販サイトの「Wowma! Brand Square」が好調

2017年2月、ネット通販サイト「Wowma! (ワウマ)」に、マルイ運営のファッション専門売場「Wowma! Brand Square」がオープン。EC事業でのノウハウを活かした品揃えをおこなうとともに、モール内でのエポスカードの発行も開始。「Wowma!」の利用客の9割は「マルイウェブチャネル」の新規利用客であり、新たな顧客の拡大へとつながっています。

#### 「マルイウェブチャネル」での購入商品の店舗受取りをマルイ24店舗へ拡大

昨今のネット通販の急激な拡大にともなう宅配物流量の急増が社会問題になっています。丸井グループではこれまで、ネット通販での購入商品の店舗受取りを一部の店舗で実施してきましたが、お客さまの「他のお店でも受け取れるようにしてほしい」とのお声を受けて、マルイ24店舗を対象を拡大しました。また、各店舗では「マルイウェブチャネル」購入商品の返品も承ります。



「ラクチンきれいシューズ」を中心としたプライベートブランド商品もご購入いただけます。





丸井グループのEC事業を支える物流部門 株式会社ムービングの三郷Web通販総合物流センターでロボット倉庫「オートストア」が稼働しました。「オートストア」では、2万7,000個の専用コンテナを12段に分けて積み上げ、空間を無駄なく使用することで、倉庫の保管効率が従来の約3倍に向上しました。また、従来は保管棚から商品を取り出すピッキング作業を、人が歩いておこなっていましたが、「オートストア」ではロボットが商品を「ポート」と呼ばれる作業スペースまでピッキングするため、従業員は入庫・出庫作業をほとんど歩くことなくおこなえるようになり、作業負担が大幅に軽減されました。



1坪当たり商品保管量（シューズ）

約180足

↓3倍に!

約540足

ココがポイント



納品された商品を従業員が「オートストア」に投入



2万7,000個の専用コンテナ

大量の商品を保管・管理



ロボットがピッキングした商品を従業員が梱包



必要な商品をロボットが自動でピッキング



お客さまのもとへお届け

## 「インクルージョン」への大きな共感

「インクルージョンフェス2017」開催

時代と共に変化するお客さまニーズや社会の課題に対して、未来をどう切り拓いていくのか。丸井グループではその鍵として、「インクルージョン（包摂）」という考え方に注目しています。本業を通じて「インクルージョン」を実現していくには、従業員一人ひとりが互いの個性を認め合い尊重する風土づくりが必要であることから、従業員の意識改革と多様性を「体験・体感」できる場づくりとして、従業員とその家族を対象に「インクルージョンフェス」を2017年8月にはじめて開催しました。



開催した2日間で、従業員やその家族など約1,500名が参加し、「インクルージョン」への大きな共感を呼びました。

互いの個性を知る



自己分析をおこなったり、聴覚障がいのあるグループ従業員から手話を学ぶことで、仕事や日常生活に役立つプログラムを用意

ココロとカラダを知る



「血管年齢」「骨チェック」「肺活量」「背筋・握力」の計測やヨガ体験など、自らのココロとカラダの状態を知るためのプログラムを用意



疑似体験コーナー



妊婦疑似体験ジャケットや、アイマスクを着用しての歩行体験、車イスの試乗など、さまざまな人を理解するための体験コーナーを設置

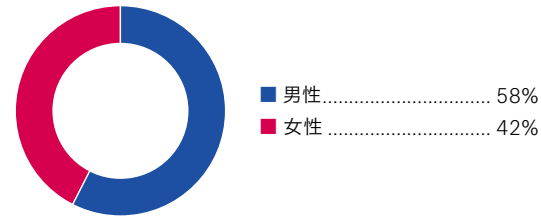


## 株主様アンケート

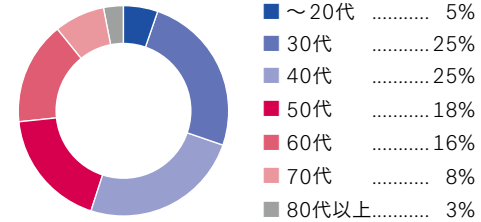
2017年3月期 報告書にて実施いたしました、「株主様アンケート」におきましては、5,031名の株主様にご回答いただき、ありがとうございました。ここに一部ですが、いただいたご意見・ご要望をご紹介します。

アンケートの結果は今後のIR活動に活かしてまいります。

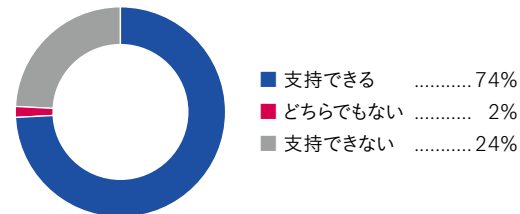
### 回答者さまの性別内訳



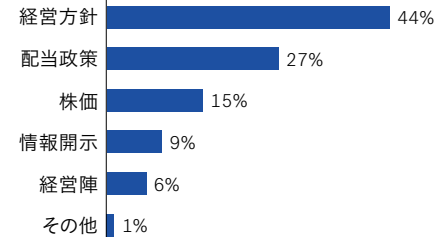
### 回答者さまの年代別内訳



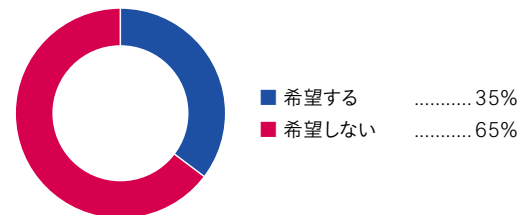
### Q1 経営への支持度



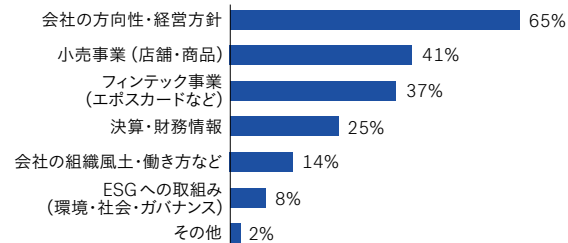
### Q2 支持できる理由（複数回答）



### Q3 株主様向けの会社説明会や座談会を希望するか



### Q4 聞きたい・対話したい内容（複数回答）



## 皆さまのご意見を経営に活かします

### お客さまと共に創る店づくり・モノづくり



丸井グループでは、すべてのお客さまに選んでいただける店づくり・モノづくりの実現に向けて、お客さま自身に価値創造プロセスに参画していただく「お客さま企画会議」をおこなっています。会議内容は商品開発からお店のサービス・品揃えにいたるまで多岐にわたっており、これまで多くのお客さまにご参加いただきました。

🌐 [voi.0101.co.jp/voi/webshop/collabo\\_product/monitor.jsp](http://voi.0101.co.jp/voi/webshop/collabo_product/monitor.jsp)

### すべての人に最適なお買い物体験を



店頭サンプルを自由に試着し、購入はネット通販でおこなうことで手ぶらでお買い物ができるという、在庫を持たない新しいショップ「体験ストア」を、全国各地のさまざまな商業施設で展開中です。お客さまにとって最もスムーズで満足度の高いお買い物体験をめざす新しい売場の形で、マルイ店舗のない地域のお客さまにもご好評いただいています。

🌐 [www.0101.co.jp/203/](http://www.0101.co.jp/203/)

双方向のWebコミュニケーションをすすめています

### ご希望の情報をお届けするメール配信

株主様との対話ツールとして、メール配信をおこなっています。最新のリリース情報や決算情報のお知らせに加え、イベントのご案内やアンケートなどをおこない、双方向のWebコミュニケーションをすすめていますので、ぜひご利用ください。



ご登録はコチラ → 🌐 [www.0101maruigroup.co.jp/ir/infomail/index.html](http://www.0101maruigroup.co.jp/ir/infomail/index.html)

## 株主メモ

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部(貸借銘柄)  
証券コード：8252

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

配当基準日 期末配当金：3月31日

中間配当金：9月30日

単元株式数 100株

定時株主総会 毎年6月中

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座 〒183-0044

管理機関 東京都府中市日鋼町1-1  
(同連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。

🌐 [www.0101maruigroup.co.jp/ir/stock/pub.html](http://www.0101maruigroup.co.jp/ir/stock/pub.html)

但し、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載しておこないます。



お知らせ

## 「共創経営レポート 2017」を発行しました

丸井グループでは、ステークホルダーの皆さまとの対話のかけ橋として、また当社グループの「共創経営」や事業をご理解いただくツールとして、2015年より「共創経営レポート」の発行をスタート。2017年9月には3冊目となる「共創経営レポート 2017」を発行しました。

「共創経営レポート 2017」では、ステークホルダーの皆さまとの対話の中でご要望が多かった、ビジネスモデルと今後のリスクを含めた未来の取組みに焦点を当てており、当社グループの「共創経営」をより深くご理解いただける内容となっています。

### 「共創経営レポート 2017」編集長より

「共創経営レポート」は、社長を中心として、IR部やESG推進部、経営企画部などさまざまな部署横断のプロジェクトチームで議論を重ねて制作しています。2017年は、前回のレポートでご好評いただいたダイアログ（対話）を活用し、外部の視点も交えて当社の価値創造の取組みをご説明しています。中でも社長の青井が自ら書いた「社長メッセージ」では、当社のビジネスモデルと未来に向けた取組みについて、グラフや図を使いながら、できるだけわかりやすく伝わるよう工夫しています。ホームページには、過去のメッセージもアーカイブとして掲載していますので、ぜひご覧ください。

社長メッセージ アーカイブ

[www.0101maruigroup.co.jp/ir/message/ceo.html](http://www.0101maruigroup.co.jp/ir/message/ceo.html)

株式会社丸井グループ 総務部 広報室長 松本 孝洋



「共創経営レポート 2017」の詳しい内容は丸井グループのホームページをご覧ください。

[www.0101maruigroup.co.jp/ir/lib/i-report.html](http://www.0101maruigroup.co.jp/ir/lib/i-report.html)

冊子の郵送をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

総務部 広報室 03-3384-0101（代表）

受付時間 10時～18時（水・日は定休日）

株式会社丸井グループ

〒164-8701 東京都中野区中野4丁目3番2号  
電話 03-3384-0101（代表）